

平成30年第3回名寄市議会定例会会議録  
開議 平成30年9月28日（金曜日）午後1時00分

1. 議事日程

- 日程第1 会議録署名議員指名
- 日程第2 議案第12号 平成29年度名寄市一般会計決算の認定について（決算審査特別委員長報告）  
議案第13号 平成29年度名寄市国民健康保険特別会計決算の認定について（決算審査特別委員長報告）  
議案第14号 平成29年度名寄市介護保険特別会計決算の認定について（決算審査特別委員長報告）  
議案第15号 平成29年度名寄市下水道事業特別会計決算の認定について（決算審査特別委員長報告）  
議案第16号 平成29年度名寄市個別排水処理施設整備事業特別会計決算の認定について（決算審査特別委員長報告）  
議案第17号 平成29年度名寄市食肉センター事業特別会計決算の認定について（決算審査特別委員長報告）  
議案第18号 平成29年度名寄市後期高齢者医療特別会計決算の認定について（決算審査特別委員長報告）  
議案第19号 平成29年度名寄市病院事業会計決算の認定について（決算審査特別委員長報告）  
議案第20号 平成29年度名寄市水道事業会計決算の認定について（決算審査特別委員長報告）
- 日程第3 議案第21号 名寄市水道事業給水条例の一部改正について
- 日程第4 議案第22号 平成30年度名寄市一

- 般会計補正予算（第4号）
- 日程第5 意見書案第1号 林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書  
意見書案第2号 学校施設や通学路におけるブロック塀等の安全性確保を求める意見書  
意見書案第3号 児童虐待防止対策のさらなる強化と児童相談所の強化を求める意見書  
意見書案第4号 道教委「これからの高校づくりに関する指針」を抜本的に見直しすべての子どもにゆたかな学びを保障する高校教育を求める意見書  
意見書案第5号 主要農産物種子法の新たな立法を求める意見書
- 日程第6 報告第7号 例月現金出納検査報告について
- 日程第7 閉会中継続審査（調査）の申し出について
- 日程第8 委員の派遣変更について
- 日程第9 委員の派遣報告について

1. 本日の会議に付した事件

- 日程第1 会議録署名議員指名
- 日程第2 議案第12号 平成29年度名寄市一般会計決算の認定について（決算審査特別委員長報告）  
議案第13号 平成29年度名寄市国民健康保険特別会計決算の認定について（決算審査特別委員長報告）  
議案第14号 平成29年度名寄市介護保険特別会計決算の認定について

（決算審査特別委員長報告）  
 議案第15号 平成29年度名寄市下水道事業特別会計決算の認定について  
 （決算審査特別委員長報告）  
 議案第16号 平成29年度名寄市個別排水処理施設整備事業特別会計決算の認定について（決算審査特別委員長報告）

議案第17号 平成29年度名寄市食肉センター事業特別会計決算の認定について（決算審査特別委員長報告）

議案第18号 平成29年度名寄市後期高齢者医療特別会計決算の認定について（決算審査特別委員長報告）

議案第19号 平成29年度名寄市病院事業会計決算の認定について（決算審査特別委員長報告）

議案第20号 平成29年度名寄市水道事業会計決算の認定について（決算審査特別委員長報告）

日程第3 議案第21号 名寄市水道事業給水条例の一部改正について

日程第4 議案第22号 平成30年度名寄市一般会計補正予算（第4号）

日程第5 意見書案第1号 林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

意見書案第2号 学校施設や通学路におけるブロック塀等の安全性確保を求める意見書

意見書案第3号 児童虐待防止対策のさらなる強化と児童相談所の強化を求める意見書

意見書案第4号 道教委「これからの高校づくりに関する指針」を抜本的に見直しすべての子どもにゆたかな学びを保障する高校教育を求める意見書

意見書案第5号 主要農産物種子法の

新たな立法を求める意見書

日程第6 報告第7号 例月現金出納検査報告について

日程第7 閉会中継続審査（調査）の申し出について

日程第8 委員の派遣変更について

日程第9 委員の派遣報告について

1. 出席議員（17名）

|     |     |     |     |    |
|-----|-----|-----|-----|----|
| 議長  | 17番 | 黒井  | 徹   | 議員 |
| 副議長 | 14番 | 佐藤  | 靖   | 議員 |
|     | 2番  | 山崎  | 真由美 | 議員 |
|     | 3番  | 野田  | 三樹也 | 議員 |
|     | 4番  | 川口  | 京二  | 議員 |
|     | 5番  | 川村  | 幸栄  | 議員 |
|     | 6番  | 奥村  | 英俊  | 議員 |
|     | 7番  | 高野  | 美枝子 | 議員 |
|     | 8番  | 佐久間 | 誠   | 議員 |
|     | 9番  | 東川  | 孝義  | 議員 |
|     | 10番 | 塩田  | 昌彦  | 議員 |
|     | 11番 | 山田  | 典幸  | 議員 |
|     | 12番 | 大石  | 健二  | 議員 |
|     | 13番 | 熊谷  | 吉正  | 議員 |
|     | 15番 | 高橋  | 伸典  | 議員 |
|     | 16番 | 佐々木 | 寿   | 議員 |
|     | 18番 | 東   | 千春  | 議員 |

1. 欠席議員（1名）

|    |    |    |    |
|----|----|----|----|
| 1番 | 浜田 | 康子 | 議員 |
|----|----|----|----|

1. 事務局出席職員

|     |    |     |    |
|-----|----|-----|----|
| 事務局 | 局長 | 久保  | 敏  |
| 書   | 記  | 渡辺  | 敏史 |
| 書   | 記  | 開発  | 恵美 |
| 書   | 記  | 長正路 | 慶  |

1. 説明員

|   |   |    |     |
|---|---|----|-----|
| 市 | 長 | 加藤 | 剛士君 |
|---|---|----|-----|

---

|                 |        |
|-----------------|--------|
| 副市長             | 橋本正道君  |
| 教育長             | 小野浩一君  |
| 総務部長            | 中村勝己君  |
| 市民部長            | 三島裕二君  |
| 健康福祉部長          | 小川勇人君  |
| 経済部長            | 臼田進君   |
| 建設水道部長          | 天野信二君  |
| 教育部長            | 河合信二君  |
| 市立総合病院<br>事務部長  | 岡村弘重君  |
| 市立大学<br>事務局長    | 松島佳寿夫君 |
| 総合政策室長          | 石橋毅君   |
| こども・高齢者<br>支援室長 | 廣嶋淳一君  |
| 上下水道室長          | 粕谷茂君   |
| 会計室長            | 常本史之君  |
| 監査委員            | 鹿野裕二君  |

---

○議長（黒井 徹議員） 本日の会議に1番、浜田康子議員から欠席の届け出がありました。

ただいまの出席議員数は17名であります。定足数に達しております。直ちに本日の会議を開きます。

○議長（黒井 徹議員） 日程第1 会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員には、会議規則第87条の規定により、

3番 野田 三樹也 議員

16番 佐々木 寿 議員

を指名いたします。

○議長（黒井 徹議員） 日程第2 議案第12号 平成29年度名寄市一般会計決算の認定について、議案第13号 平成29年度名寄市国民健康保険特別会計決算の認定について、議案第14号 平成29年度名寄市介護保険特別会計決算の認定について、議案第15号 平成29年度名寄市下水道事業特別会計決算の認定について、議案第16号 平成29年度名寄市個別排水処理施設整備事業特別会計決算の認定について、議案第17号 平成29年度名寄市食肉センター事業特別会計決算の認定について、議案第18号 平成29年度名寄市後期高齢者医療特別会計決算の認定について、議案第19号 平成29年度名寄市病院事業会計決算の認定について、議案第20号 平成29年度名寄市水道事業会計決算の認定について、以上9件を一括議題といたします。

付託いたしました委員会の審査の経過並びに結果の報告を求めます。

決算審査特別委員会、東川孝義委員長。

○決算審査特別委員長（東川孝義議員） 議長より御指名をいただきましたので、今定例会で決算審査特別委員会に付託されました議案第12号 平成29年度名寄市一般会計決算の認定について、議案第13号から議案第18号までの各特別会計

決算の認定について、議案第19号 平成29年度名寄市病院事業会計決算の認定について及び議案第20号 平成29年度名寄市水道事業会計決算の認定について、委員会の審査経過と結果の御報告を申し上げます。

第1回委員会は、9月3日に開会し、直ちに正副委員長の互選が行われ、委員長には私東川孝義が、副委員長には山崎真由美委員が選任されました。

第2回の委員会は、9月25日に開会し、審査日程を9月25日から28日までの4日間と決め、実質審査に入りました。

審査期間中は、市長を初め関係する職員の出席を求め、説明、答弁をいただき、各会派の代表による総括質疑並びに委員による質疑を行い、慎重に審査を行いました。

審査経過につきましては、当委員会は全議員をもって構成された特別委員会ですので、詳細な報告は省略させていただき、審査の結果のみを御報告申し上げますので、御了解をお願い申し上げます。

当委員会に付託されました全会計決算中、一般会計及び国民健康保険特別会計については起立多数により、その他の5特別会計、病院事業会計、水道事業会計はいずれも全会一致で原案のとおり認定すべきものと決定しました。

よって、当委員会に付託されました各会計決算につきましてはいずれも正確な収支が行われ、予算の執行が適正であったことが認められました。

以上が審査の結果であります。

なお、委員会開催中は、委員並びに理事者各位におかれましては終始慎重かつ熱心に審査を尽くしていただきましたことにお礼を申し上げます。また、日程どおり決算審査特別委員会を終えることができましたことに重ねてお礼を申し上げます。本委員会の報告とします。ありがとうございました。

○議長（黒井 徹議員） ただいま決算審査特別

委員会委員長より報告のありました議案第12号外8件については、全議員をもって構成されました特別委員会でありますので、この際質疑を省略し、直ちに採決を行います。

議案第12号 平成29年度名寄市一般会計決算の認定について委員長報告のとおり認定することに賛成の議員の起立を求めます。

（起立多数）

○議長（黒井 徹議員） 起立多数であります。

よって、議案第12号は委員長報告のとおり認定することに決定いたしました。

お諮りいたします。議案第13号 平成29年度名寄市国民健康保険特別会計決算の認定について委員長報告のとおり認定することに賛成の議員の起立を求めます。

（起立多数）

○議長（黒井 徹議員） 起立多数であります。

よって、議案第13号は委員長報告のとおり認定することに決定いたしました。

次に、議案第14号 平成29年度名寄市介護保険特別会計決算の認定についてから議案第20号 平成29年度名寄市水道事業会計決算の認定についてまでの7件について委員長報告のとおり認定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（黒井 徹議員） 異議なしと認めます。

よって、議案第14号から議案第20号までの7件は委員長報告のとおり認定することに決定いたしました。

---

○議長（黒井 徹議員） 日程第3 議案第21号 名寄市水道事業給水条例の一部改正についてを議題といたします。

提出者の説明を求めます。

加藤市長。

○市長（加藤剛士君） 議案第21号 名寄市水道事業給水条例の一部改正について、提案の理由を申し上げます。

水道事業の経営につきまして、名寄市上下水道事業経営審議会に諮問をし、料金改定が必要との答申を受けておりました。本年8月には、同審議会に水道料金の改定率及び時期について提案をし、料金改定に関する御意見をいただき、了承をされたところでございます。

水道事業といたしましては、平成29年度に策定をした名寄市水道事業経営戦略の投資、財政計画でも検討しておりますが、現行の料金水準では資金不足が生じ、安定的な水供給に向けた投資や老朽化する施設、管路の維持管理費用を賄うことは難しく、災害にも対応できる安定的な事業運営には水道料金の改定が必要であることから、本条例の一部を改正しようとするものでございます。

よろしく御審議くださいますようお願いを申し上げます。

○議長（黒井 徹議員） これより、議案第21号について質疑に入ります。御発言ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（黒井 徹議員） 質疑なしと認めます。

議案第21号は、経済建設常任委員会へ付託をいたします。

---

○議長（黒井 徹議員） 日程第4 議案第22号 平成30年度名寄市一般会計補正予算（第4号）を議題といたします。

提出者の説明を求めます。

加藤市長。

○市長（加藤剛士君） 議案第22号 平成30年度名寄市一般会計補正予算について、提案の理由を申し上げます。

今回の補正は、北海道から介護サービス提供基盤等整備事業費交付金の内示に伴い必要な経費を補正しようとするものでありまして、歳入歳出にそれぞれ5,427万9,000円を追加をし、予算総額を220億8,005万3,000円にしようとするものであります。

歳出について申し上げます。3款民生費におきまして介護サービス提供基盤等整備事業費交付金5,427万9,000円の追加は、地域密着型サービス施設等の整備及び介護施設の開設準備に対し補助しようとするものであります。

次に、歳入につきましては、16款道支出金において介護サービス提供基盤等整備事業費交付金で5,427万9,000円を追加しようとするものであります。

よろしく御審議くださいますようお願いを申し上げます。

○議長（黒井 徹議員） これより、質疑に入ります。御発言ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（黒井 徹議員） 質疑なしと認めます。

お諮りいたします。本件は、委員会付託を省略し、直ちに採決することに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（黒井 徹議員） 異議なしと認めます。

これより採決を行います。

議案第22号は原案のとおり決定することに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（黒井 徹議員） 異議なしと認めます。

よって、議案第22号は原案のとおり可決されました。

---

○議長（黒井 徹議員） 日程第5 意見書案第1号 林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書、意見書案第2号 学校施設や通学路におけるブロック塀等の安全性確保を求める意見書、意見書案第3号 児童虐待防止対策のさらなる強化と児童相談所の強化を求める意見書、意見書案第4号 道教委「これからの高校づくりに関する指針」を抜本的に見直しすべての子どもにゆたかな学びを保障する高校教育を求める意見書、意見書案第5号 主要農産物種子法の新たな立法を求める意見書、以上5件を一

括議題といたします。

お諮りいたします。意見書案第1号外4件は、質疑、委員会付託を省略し、直ちに採決することに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（黒井 徹議員） 異議なしと認めます。

これより採決を行います。

意見書案第1号外4件を原案のとおり決定することに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（黒井 徹議員） 異議なしと認めます。

よって、意見書案第1号外4件は原案のとおり可決されました。

---

○議長（黒井 徹議員） 日程第6 報告第7号 例月現金出納検査報告についてを議題といたします。

本件については、報告書がお手元に配付されておりますので、これをもって御了承をお願いいたします。

---

○議長（黒井 徹議員） 日程第7 閉会中継続審査（調査）の申し出についてを議題といたします。

お諮りいたします。お手元に配付いたしました各委員長からの申し出のとおり決定することに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（黒井 徹議員） 異議なしと認めます。

よって、申し出のとおり決定いたしました。

---

○議長（黒井 徹議員） 日程第8 委員の派遣変更についてを議題といたします。

お諮りいたします。お手元に配付のとおり、委員の派遣を変更することに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（黒井 徹議員） 異議なしと認めます。

よって、委員の派遣変更が決定いたしました。

○議長（黒井 徹議員） 日程第9 委員の派遣報告を行います。

派遣された委員の報告を求めます。

総務文教常任委員会、東千春委員長。

○総務文教常任委員長（東 千春議員） 総務文教常任委員会の視察報告を申し上げます。

日程は7月2日から4日までの3日間で、4自治体、5カ所視察をいたしました。初日は、網走市にある日本体育大学附属高等支援学校を訪問いたしました。網走市と連携し、閉校となった2つの教育施設を活用して国内初のスポーツ教育を主軸とした知的障がい者の特別支援学校として、平成29年に開校しました。学校の理念と経営方針では、学校教育目標を「自らの無限の可能性を信じ、たくましく（学び）生きる」とし、生徒が地域社会で生きる力を養うことを目指し、学校の中だけでは教育は完結しないという理念のもと、網走のまちの人々との触れ合いに重きを置いた体験的な活動を通し、好きなことを見つけ、得意なことをふやし、将来の自立につながる学習活動を行っております。

パラスポーツが一層注目を集めている中で、当市においても福祉サイドとの連携によりパラスポーツの取り組みを充実させることで、冬季スポーツ拠点化プロジェクトが一層広がりを見せるとともに、さらに深みを増すことが期待できると感じました。

2日目の午前は、釧路市中央図書館を視察いたしました。旧市立釧路図書館の老朽化と資料保存の限界、さらには耐震診断の結果、課題解決をすることは難しいとの判断から、平成30年に建設されております。建設位置の決定の経緯と選考理由については、平成25年に新図書館整備庁内検討会議を設置し、適正な規模、立地場所、整備手法等について検討を開始しました。適正規模については、文科省が示す図書館の設置及び運営上の望ましい基準と他都市図書館面積を参考に5,50

0平米程度を想定、立地場所については各地区コミュニティセンター図書室から2キロ以上離れ、交通の利便性がよく、中心市街地活性化に貢献できる場所等の観点で検討し、北大通における民間ビル新築計画が明らかになったことから、同ビルへの賃貸入居による新図書館整備の可能性について検討したところ、想定規模での整備が可能であることや公共交通機関の利便性が高く、補助制度の活用により財政問題も解決できることなどから、民間ビル内に図書館を設置することが最善と判断し、決定に至っております。

図書館の管理運営手法については、1、民間ノウハウを生かした利用サービスの向上が期待できる、2、人的資源の整備が図られる、3、経費の合理的、効率的な運用によるコストダウンが期待できるなどのメリットがあることから、指定管理制度を採択しております。導入前後の変化としては、開館時間の延長と開館日の拡大、利用者の増加、接遇の向上、レファレンス件数の増加などの効果が見られるとともに、図書館運営に係る経費についても約1,300万円程度節減されたなどの説明を受けました。

今後の当市における図書館のあり方について、民間活力の有効利用手法や施設整備のコンセプト、中心市街地活性化への貢献など検討要素の参考となる事例でありました。

2日目午後は、釧路市公共施設等見直し指針について視察をいたしました。公共施設の老朽化により、改修や更新をしたとしても費用の増大と集中が発生することから、建物状況、利用状況、運営状況等を把握し、総合的、戦略的、経営的な公共施設の見直し、公有資産マネジメントにより最少の経費で最大の効果を生み出す取り組みが必要となることから、平成22年に釧路公立大学地域経済研究センターとの共同で釧路市都市経営戦略会議を設置いたしました。当会議は、翌平成23年1月に釧路市の都市経営のあり方に関する提言をまとめており、その中で都市経営戦略のプラン

として、1、政策プラン、2、市役所改革プラン、3、財政健全化推進プランを求めています。特に公共施設に関しては、市長を本部長とする都市経営推進本部に公共施設等見直し作業部会を設置し、精力的に協議を行い、平成24年3月に釧路市公共施設等見直し指針、平成26年10月に釧路市公共施設等適正化計画、平成27年9月に釧路市公共施設等保全計画、釧路市公共施設等総合管理計画を策定しております。

今回の視察では、計画の策定及び完遂を目指すには、庁内での検討協議を十分に行い、市民理解を得られるデータ作成、指針、計画であることの重要性を再確認いたしました。公共施設は、市民の財産であるがゆえに既得権も存在いたします。それだけにアバウトな目標ではなく、目標を明確化するとともに、市民に理解と協力が得られる手法を検討しなければならないことを強く感じました。

3日目午前、帯広市のこども学校応援地域基金プロジェクトを視察いたしました。地域ぐるみで子供を育てることが求められる中で、これまで学校支援地域本部事業、放課後子ども広場、子供の見守り活動を初めとするさまざまな取り組みを通じて子供たちの健全育成を支援をしてきました。このプロジェクトは、学校を核として地域ぐるみで進めている子育てなどに関する既存の取り組みを緩やかにくくり、学校、家庭、地域総ぐるみでふるさとの風土に学び、人がきらめき、人がつながる帯広の教育の実現を目指しております。

寄附金は、平成28年度11件、114万円、平成29年度171件、370万円、平成30年度6月末で14件、20万円の寄附が寄せられ、地域ぐるみで子供を応援する活動資金に充てられております。

学校を中心に地域が連携、協力し行われている地域で子供の顔が見える学校支援、放課後の居場所づくり、子供の見守りなどの活動を参考に、本市の取り組みを再度検証して、よりよい環境をつ

くりたいと感じました。

3日午後は、幕別町図書館を視察いたしました。幕別町図書館は、図書館が持つ3つの力として、1、ネットの力としてバーチャル本棚、プログ型の情報発信と共有、2、人材の力として本棚編集の自在性、地域情報の編集、3、本棚の力として魅力ある独自の本棚構成、カメレオンコードに注目し、それらを有機的につなげて図書館を利用者や地域の多様なニーズに応える情報サービス拠点として、情報編集センターに変革することを目指しております。

平成30年度の代表的な取り組みとして、1、ARのプラットホーム構築事業、2、図書館オリジナルグッズの企画販売、3、町友である平田オリザさんを講師に招いた講演会及びワークショップの開催、4、東部4町図書館交流事業、5、ポップコンテスト、6、ハロウィンパーティー、7、古本交換市、雑誌無料配布を計画していると伺いました。特徴的な取り組みとして、北の本箱事業では著名人から寄贈を受けた蔵書類を展示し、広く町民が手にとることで文化意識の高揚が図られるなど、職員のアイデアによりさまざまな企画を展開しており、先進的な取り組みを学びました。

当市の図書館は老朽化が著しく、今後の方向性を検討する中で、これらを参考とし、市民全体を巻き込んだ議論を進めることで市民理解を得られる図書館設計ができるのではないかと感じました。

以上、総務文教常任委員会の視察報告といたします。

○議長（黒井 徹議員） 続いて、市民福祉常任委員会、熊谷吉正委員長。

○市民福祉常任委員長（熊谷吉正議員） 市民福祉常任委員会行政視察について報告をいたします。

7月2日に留萌市の農業と福祉の連携による6次産業化について、7月3日には札幌市の社会医療法人社団愛心メモリアル病院の病院食に対する取り組みについて、砂川市における認知症に関する取り組みについて視察研修を行いましたので、



主な内容について報告をいたします。

留萌市の農業と福祉の連携による6次産業化については、平成24年より農水産物の未利用部分の利用拡大に向けた乾燥加工研究事業に取り組んできた経過があり、平成25年に乾燥野菜による高齢農家と障がい者のスモールビジネス支援として、大根を使った留萌産てぎり干し大根を試作製造し、就労支援の取り組みが開始されました。平成26年からは、農業、福祉連携6次産業化支援事業（事業費約2,700万円）により取り組みを拡大し、野菜生産の振興、障がい者就労支援等の支援、幌糠地区の活性化などに向け、廃校施設の改修し、農産物加工による農福連携の拠点が整備をされています。現状は、協力農家の圃場で大根の収穫作業を行い、廃校跡地の加工施設で障がいの程度に応じた作業分担により製品化され、6次産業化の取り組みとして関東圏のスーパー、道内の生協での販売、学校給食での提供や干し大根入りパンも商品化されています。

今後の新たな取り組みとして、農林水産省の農山漁村振興交付金を活用し、障がい者の就労支援を進めるための受け入れ態勢の構築、就労サポート、人材育成などNPOるもい農業応援隊コーディネーターを配置し、地域における農福連携に向けた取り組み全体を調整、コーディネートする仕組みづくりを目指すとのことでした。他に近畿大学と連携し、もみ殻を利用した固形燃料の開発などにより、資源循環型農業への挑戦が始まるなど、新たな分野における農福連携につながる要素もあり、行政職員の情報収集による国の補助制度の連続した有効活用、地域住民との連携や支援体制の構築等の努力が実を結んだ結果と思われまます。

名寄市における農福連携の取り組みは、障がい者と受け入れ農業者との連携により進みつつありますが、障がい者の雇用、農業分野の労働力確保として捉えるのではなく、障がい者の特性を生かし、就労環境の確保に対する理解と相互の連携を高めていくことが課題であり、具体的課題をクリ

アしながら今後の事業化に期待が膨らみます。

次に、札幌市社会医療法人社団愛心メモリアル病院の病院食に対する取り組みについて。同院が病室でおいしい病院食の提供に着目したのは、病院食業務を委託していた配食業者との契約満了が契機になりました。業者との契約更新か、自前での調理、配食かを院内で協議を重ねる中で、入院患者を対象に行ったアンケートから、病院食は味が薄い、まずい、食欲が湧かないという病院食に対する率直な意見が院内調理と配食の決め手となりました。

病院食改善の阻害要因となっているのが病院食ならではの制約です。塩分の制限とおいしさを両立させるのは一筋縄ではいきません。ほかにもたんぱく質の制限やかたいものが食べられないなど患者の症状によって食材のさまざまな制限に対応しなければなりません。さらに、費用の壁もあります。病院食は治療の一環とされ、その費用は健康保険と自己負担によって支払われています。病院食は、入院時食事療養費で1日3食1,920円と決められています。診療報酬上1食当たり640円、そのうち自己負担は100円から360円で供されます。健康保険から費用が出る以上、病院食に療養に必要で良質な食事提供が求められています。

鮮度やおいしさの追求について同院の管理栄養士からは、困難な交渉の末に仲買人さんとともに札幌中央卸売市場からの直接買い付けを行い、コスト削減を図ることに成功しましたとの話があり、扱いやすい冷凍物ではなく、安価で鮮度の高い生魚や生野菜の提供で費用の壁のみならず、食材の制限についても新たな取り組みを試みています。さらに、通常の病院食は高血圧、心臓病などの塩分制限は5から6グラム未満で調理され、ふだんの食事より相当味が薄いと感じられるのもやむを得ません。予算や手間や労力、健康を考えた場合、病院食は実はおいしいのかもしれない。ただ、考えさせられる事例もあります。入院中に食事が

進まず、栄養が低下した患者に制限のない普通食を出していたら元気になったという事例報告がされています。逆に病気の進行で食事ができないと判断され、点滴や胃に入った胃瘻で強制的な栄養補給が始まるとますます食事ができなくなることも起こり得ることも学びました。

今回の視察では、おいしい病院食であるためには病院食を正しく評価する第三者機関の設置とそれを支える行政の仕組みづくりとともに、私たち一人一人が病院食に強い関心を持つことで、病院食はまずい、おいしくないという諦めや固定観念からの脱却につながるということを再認識することができました。

次に、砂川市における認知症に関する取り組みについて。砂川市立病院では、平成16年に物忘れ外来の診療が開設され、同年管内開業医、地域包括支援センターや社協等と任意団体、中空知地域で認知症を支える会を立ち上げ、認知症に関する啓発事業を開始しました。その後、平成24年に北海道から認知症疾患医療センターの指定を受け、地域医療機関、介護関連事業者との連携により診療治療、啓発活動が高く評価されてきました。その後、平成26年に開始した認知症初期集中支援推進事業にもつながり、物忘れ外来から13年にもわたりさまざまな資源やネットワークを構築し、認知症の方が地域でより安心して暮らし続けられる組織づくりが進められてきています。

認知症疾患医療センターの主な役割は、医療、連携、啓発です。医療では、診断を行うことと同様に重要なのが認知症の周辺行動である徘徊や暴言などによりSOSが出されたときの入院対応やそのためのベッドの確保です。また、人工透析などの身体合併症やさまざまな内科的な疾病への診療も必要です。連携、啓発についてもさまざまな機関や市民、住民とも協調しながら、認知症とのかかわり方やビジョンがどこまで進んでいるか、ケアスタッフや地域住民とともに啓発活動を継続しているとの話がありました。

診療体制の特徴としては、精神神経科、脳神経外科、精神内科の3人の医師が共同診療を行い、さまざまな視点での診断により精度の高い結果を出していることです。単に鬱病や精神的症状を診るだけでは診療単価が上がらないため、専門医師の配置や高度な医療機器の活用により診療単価にも反映しています。

砂川市の認知症初期集中支援チームについては、平成26年9月から道内2番目に地域包括支援センターが設置され、医療系訪問担当者と介護職員及び認知症サポート医の3人で動き、究極のおせっかいチームで訪問し、早期発見、早期治療、早期介護につなぐことにしています。現在は、砂川市だけではなく、空知中部広域連合からも要望があり、1市4町に広がり、支援体制が確立されました。認知症家族教室は年3回開催し、介護の不安を家族同士で話し合っています。さらには、専門医の努力によりアルツハイマー型認知症とは違うレビー小体型認知症についても相談できる体制も整備されています。認知症の支え合いは、専門病院、地域のかかりつけ医や介護、保健、福祉関係者の連携に加え、認知症の方がより長く在宅で生活するためには地域住民やボランティア、町内会などの支え合いが重要とのことで、砂川市だからできるのではなく、どの地域でも一般化するための課題を明確にした上で実践することが必要であると痛感しました。

以上で限られた時間内での報告になりますが、市民福祉常任委員会として今任期中視察テーマの多くは第7期高齢者保健医療福祉計画・介護保険事業計画の大きな課題でもある地域包括ケアシステムと重なるため、今後の実効性をより高めていくために、市民や行政とも連携しながら、継続的に取り組んでいきたいと思っております。

以上で報告といたします。

○議長（黒井 徹議員） 以上で委員の派遣報告を終わります。

○議長（黒井 徹議員） 以上で今期定例会に付議されました案件は全て議了いたしました。

これもちまして、平成30年第3回定例会を閉会いたします。

大変お疲れさまでした。

---

閉会 午後 1時37分

上記会議のてんまつを記載し、その相違なきことを証するため、ここに署名議員とともに署名する。

議 長 黒 井 徹

署名議員 野 田 三樹也

署名議員 佐々木 寿